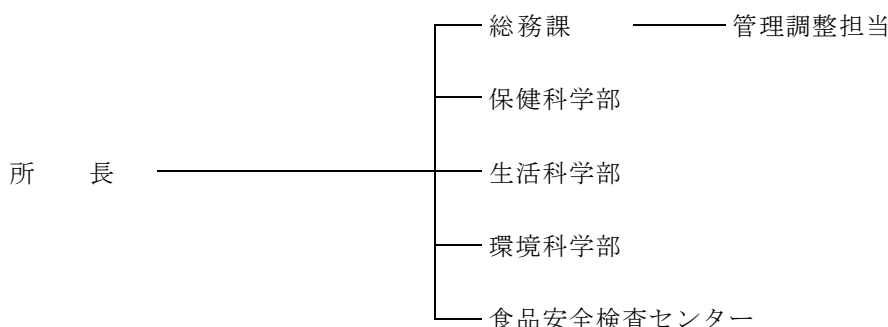


1 沿革

昭和 23年 3月	衛生研究所開設（岐阜市司町 県庁内）
26年 8月	衛生研究所新築移転（岐阜市八ツ梅町）
40年 4月	衛生研究所に公害研究センターを新設
43年 4月	衛生研究所に公害研究所を付置
45年 3月	衛生研究所新築移転（岐阜市野一色）
45年 4月	公害研究所，衛生部より企画開発部へ所管換
47年 4月	公害研究所，企画開発部より環境局へ所管換
48年 4月	衛生研究所に薬事指導所を付置
49年 12月	公害研究所移転（岐阜市藪田）
57年 4月	公害研究所，環境部より生活環境部へ所管換
58年 4月	衛生研究所は衛生部より，公害研究所は生活環境部より衛生環境部へ所管換
平成 5年 4月	衛生研究所と公害研究所が組織統合により保健環境研究所に改称
8年 4月	保健環境研究所，衛生環境部より総務部に所管換
10年 4月	保健環境研究所，総務部より知事公室に所管換
11年 4月	薬事指導所を廃止
11年 8月	保健環境研究所新築移転（各務原市那加不動丘1-1 健康科学センター内）
18年 4月	保健環境研究所，知事公室より総合企画部に所管換
19年 4月	健康科学担当を廃止
20年 4月	食品安全検査センターを新設

2 運営概要

2.1 組織



2.2 職員数

(平成 22年 3月 31日現在)

区分	定員	実人員	実 人 員 内 訳							
			所長	管理監	課長	総務課	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査センター
事務	4	5		1		4				
技術	26	26	1				8	3	10	4
非常勤専門職	4	4					2		1	1
計	34	35	1	1		4	10	3	11	5

2.3 分掌事務

総務課

- ・ 職員の人事服務に関すること。
- ・ 予算の編成，執行及び決算に関すること。
- ・ 岐阜保健所との連絡調整等に関すること。
- ・ 岐阜県健康科学センター（共用部分）の活用に関すること。
- ・ 県有財産及び物品の維持管理に関すること。
- ・ 検査手数料の徴収に関すること。

保健科学部

- ・感染症発生動向調査事業（ウイルス及び細菌）の検査及び調査研究に関すること。
- ・エイズウイルス及びウイルス性肝炎の検査に関すること。
- ・インフルエンザの検査及び調査研究に関すること。
- ・ウイルス性食中毒の検査及び調査研究に関すること。
- ・感染症流行予測調査及び検査に関すること。
- ・つつが虫病等リケッチア感染症の血清学的検査及び調査研究に関すること。
- ・細菌性食中毒の検査及び調査研究に関すること。
- ・三類感染症の検査及び調査研究に関すること。
- ・レジオネラの検査及び調査研究に関すること。
- ・食品、薬品、飲料水等の検査及び調査研究に関すること。
- ・クリプトスポリジウムの検査に関すること。
- ・炭疽菌によるバイオテロの検査に関すること。
- ・不明疾患の検査及び調査研究に関すること。

生活科学部

- ・医薬品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・医薬部外品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・化粧品に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・医薬機器に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・医薬品等の生産技術及びGMPバリデーションに関すること。
- ・薬物乱用防止に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・家庭用品の検査及び調査研究に関すること。
- ・衛生動物及び昆虫の同定・駆除に係る調査研究に関すること。
- ・連携大学院の運営及び活用に関すること。

環境科学部

- ・環境放射能の測定及び調査研究に関すること。
- ・大気環境監視テレメータシステムの管理運営に関すること。
- ・大気環境測定車による環境大気の測定調査に関すること。
- ・ばい煙、粉じん等発生源についての調査研究に関すること。
- ・臭気対策技術の調査研究に関すること。
- ・国設酸性雨測定所の管理に関すること。
- ・東アジア酸性雨モニタリングネットワークに係る調査及び測定に関すること。
- ・地下水、河川水等の検査及び調査研究に関すること。
- ・未規制化学物質の測定調査に関すること。
- ・ダイオキシン類等微量化学物質の測定及び調査研究に関すること。
- ・一般廃棄物及び産業廃棄物の調査研究に関すること。
- ・廃棄物の処理技術、再資源化の調査研究に関すること。

食品安全検査センター

- ・食品中の残留農薬・残留抗菌剤等に係る検査及び調査研究に関すること。
- ・農薬の新規検査法の確立に関すること。
- ・食品添加物の検査及び調査研究に関すること。
- ・食品中のPCB・重金属に係る検査に関すること。
- ・食品中のアフラトキシンの検査に関すること。
- ・食品用器具及び容器包装の検査に関すること。
- ・食品に係る健康危機事案及び苦情食品の検査に関すること。
- ・保健所検査担当者の技術研修に関すること。

2.4 職員名簿

(平成22年3月31日現在)

部 課 名	補 職 名	氏 名	備 考
	所 長	坂 井 至 通	
総 務 課	管理監兼課長 課長補佐 主 査 主 任	松 井 茂 藤 沢 康 子 江 尻 靖 子 今 堀 めぐみ	22.3.31退職 22.4.1異動
保健科学部	部 長 主任専門研究員 専門研究員 同 同 研 究 員	猿 渡 正 子 白 木 豊 青 木 聡 葛 口 剛 岡 隆 史 三 輪 由紀子	22.3.31退職
生活科学部	部長研究員兼部長 主任専門研究員 専門研究員	出屋敷 喜 宏 吉 田 勲 羽 賀 新 世	22.3.31退職 22.4.1異動 22.3.31退職
環境科学部	部長研究員兼部長 主任専門研究員 同 同 同 主任研究員 同 同 研 究 員	西 川 治 光 田 中 耕 大 塚 公 人 林 弘一郎 岡 正 人 三 原 利之 足 立 良 富 鈴 木 崇 稔 佐々木 正 人 高 島 輝 男	22.4.1異動
食品安全検査 センター	センター長 主任専門研究員 主任研究員 研 究 員	原 信 行 多 田 裕 之 菅 原 吉 規 南 谷 臣 昭	
	主 任 主任研究員 主任研究員	西 岡 多 江 山 田 万希子 古 田 紀 子	休職 休職 休職
	衛生環境技術指導員 衛生環境技術指導員 衛生環境技術指導員 衛生検査業務専門員	高 原 康 光 白 木 康 一 野 田 伸 司 山 下 聖 子	22.3.31退職

2.5 歳入及び歳出

[歳入]

単位：円

名 称	収 入 額	備 考
健康科学センター使用料	4,975,646	
衛生試験検査手数料	1,090	
受託事業収入	143,000	
労働保険料等納付金	51,869	
雑入（目的外使用料管理費外）	8,942,037	
衛生試験検査手数料（証紙収入）	10,900	
計	14,124,542	

[歳出]

単位：円

款 項 目 節	決 算 額	備 考
一般管理費	3,497,215	
財産管理費	2,316,500	
科学技術振興費	22,258,134	
国際化推進費	0	
医務総務費	4,407	
医務費	237,536	
保健環境研究費	135,000,645	
保健所費	554,000	
食品衛生指導費	32,835,491	
生活衛生指導費	603,350	
感染症予防費	22,364,344	
薬務費	2,079,193	
水道費	99,361	
環境管理推進費	1,450,000	
公害対策費	40,759,684	
雇用促進費	485,289	
計	264,545,149	

2.6 土地建物・施設

1) 土地

所在地：各務原市那加不動丘 1-1

面積： 12,320.63m²

2) 建物

		室名	面積 (m ²)
屋上機械室			61.86
5	F	遺伝子解析実験室・高度安全実験室・血清実験室・無菌室 ウイルス研究室・培地調製室・細菌研究室・低温機器室 暗室・滅菌洗浄室・カンファレンスルーム	985.55
4	F	抗菌剤自然毒研究室・食品添加物研究室・薬品研究室 残留農薬研究室・バイオサイエンス研究室・遮光実験室 生活衛生研究室・生薬鑑定種子保存室・共通機器室 低温機器室・低温保存室・カンファレンスルーム	985.55
3	F	地球環境研究室・廃棄物研究室・蒸留水電気炉室 大気研究室・官能試験室・臭気研究室・共通機器室 恒温恒湿実験室・ドラフト室・カンファレンスルーム	985.55
2	F	水質研究室・揮発性物質前処理室・低温保存室 動物実験室・共通機器室	1,861.89
1	F	所長室・テレメーター室・微量化学物質分析室 環境放射能研究室・総務課事務室・会議室・図書室・書庫 情報コーナー	1,837.71
		小計	(6,718.11)
共通部分		ハイビジョンシアター・レファレンスホール	1,243.91
保健所棟			1,877.57
別棟(車庫)			135.22
		小計	(3,256.70)
		合計	9,974.81

3 研究及び検査の概要

3.1 保健科学部

3.1.1 調査研究

1) 腸管出血性大腸菌の迅速・簡便な分子疫学解析法の検討に関する研究

(平成21年度～24年度)

感染症や食中毒の発生時には、感染源・感染経路を解明するため、菌の遺伝子型を利用した疫学解析（分子疫学解析）が行われ、手法としてパルスフィールドゲル電気泳動法（PFGE法）が一般に用いられている。しかしPFGE法は、検査に数日を要すること、手技が煩雑で熟練を要すること、再現性がやや劣るなどの問題点があった。このため近年、PCR法をベースとした迅速・簡便な方法が開発され、その有用性が検討されている。特に腸管出血性大腸菌感染症では、全国的な増加や広域流通食品による食中毒の発生が問題となるなど、分子疫学解析の重要性が増しており、より迅速・簡便でかつ解析能力の高い検査体制の整備が求められている。そこで、これらの新しい検査法やPFGE法の改良法などいくつかの手法について、その有用性や問題点の比較を行うことを目的とした検討を開始した。

平成21年度は、DNAに存在する縦列反復塩基配列（Variable-Number Tandem-Repeats）を利用したMultiple-Locus Variable-Number Tandem-Repeats Analysis（MLVA）法、及び酵素を用いないDNA抽出法によるPFGE法について、文献調査及び検査体制の整備を行った。また実際に保存株を用いてこれらの検査を行ったところ、必ずしも文献どおりの安定した結果が得られず、各種検査条件について検討が必要であることが分かった。

2) ウイルス感染症における重複感染の実態調査と主因病原体解明に関する研究

(平成21年度～24年度)

感染症の原因特定時に、複数の病原体を検出する事例がある。複数の病原体の検出事例の頻度、および重複感染の起こる背景を把握するとともに、主因病原体を特定することを目的とし、多種のウイルスを検査対象として遺伝子検索を行い、重複感染の実態を調査した。県内15定点病院において採取された54検体について、ウイルス分離・同定試験と遺伝子検索を行った。重複感染が確認された検体はみられなかったが、さらに検討が必要である。

ノロウイルスは感染力が強く、ごく少量のウイルス摂取でも発症し、激しい嘔吐・下痢等の食中毒症状を呈する。感染者の吐物及び便には大量のウイルスが含まれること、症状軽減後もしばらくはウイルスが排出されることから、感染者が気付かないうちに食材や施設を汚染する危険性は高く、ウイルスに感染していた調理従事者からの二次的感染が疑われる事例は少なくない。本研究では、食中毒事例及び集団胃腸炎事例発生時に調理施設・福祉施設の拭き取り検査などの汚染実態調査を積極的に行い、今後の食品衛生・感染症予防分野に役立てることを目的としている。

平成21年度は、拭き取り51検体、食品15検体、及び水1検体について検査を行い、15検体（ふきとり13検体、食品2検体）からノロウイルス遺伝子を検出した。

3) 厚生労働科学研究費補助金による研究事業

厚生労働科学研究費補助金による下記研究事業の研究班に研究協力者として参加し、調査研究を行った。

1. 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「新型薬剤耐性菌等に関する研究」

(平成21年度～23年度)

2. 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「食品由来感染症調査における分子疫学手法に関する研究」

(平成21年度～23年度)

3.1.2 行政検査

[ウイルス関係]

1) 感染症流行予測調査

①ポリオ感染源調査

健康者の糞便 65 検体について、RD18s 細胞、及び HeLa 細胞を用いてウイルス分離を実施した。ポリオウイルスは今回分離されず、エコーウイルス 9 型、11 型、コクサッキーウイルス A9 型、アデノウイルス 2 型、5 型がそれぞれ 1 例ずつ分離された。

②インフルエンザ感染源調査

ブタ鼻腔拭い 100 検体について、MDCK 細胞細胞を用いてインフルエンザウイルス分離を実施した。3 検体からブタ型インフルエンザウイルス(AH1)が分離された。

2) 不明疾患

集団かぜ 1 事例において、咽頭うがい液 7 検体についてウイルス検索を実施した。7 検体中 3 検体からインフルエンザウイルス B 型を分離同定した。

表 1 ウイルス検索結果

No	発 生 年 月 日	対象疾病	関連保健所	検 体		分離・検出ウイルス (検出数)
				種 類	数	
1	21. 4. 22	集団かぜ	岐阜保健所	咽頭うがい液	7	インフルエンザウイルス B 型(3)
合 計					7	

3) 結核・感染症発生動向調査事業におけるウイルス検査

1. 当該事業のうち、ウイルス検査及び検査情報の提供、また、毎月開催される感染症サーベイランス解析小委員会に参画した。検査結果は、地方感染症情報センター、各保健所、医療機関に報告し、ウイルスが分離、同定されたときは国立感染症研究所に報告した。

2. 患者数 124 名、検体 208 件について検査した結果、アデノウイルス 3 型が 1 株、コクサッキーウイルス A9 型が 4 株、エコーウイルス 6 型が 3 株、エコーウイルス 11 型が 1 株、ムンプスウイルスが 1 株分離された。

また、遺伝子検査においてロタウイルスが 1 検体、ノロウイルス GI が 1 検体、ノロウイルス GII が 1 検体、ムンプスウイルスが 1 検体、新型インフルエンザウイルス(AH1pdm)が 105 検体(66 人分)から検出された。

3. 4 類感染症(日本紅斑熱疑い)の 4 検体について、蛍光抗体法による抗体価測定を実施した。結果は全検体陰性であった。

4) ウイルス性食中毒・集団胃腸炎発生原因検査

ノロウイルス遺伝子検出を RT-PCR 法にて実施した。確認検査は TaqMan リアルタイム PCR 法を用いた(表 2)。また、サポウイルス遺伝子検出を RT-PCR 法にて実施した(表 2 ; 受付 No. 10)。

表2 ウイルス性食中毒検査状況

受付No	発生年月日	管轄保健所	検査材料	検体数	RT-PCR検出数	確認検査陽性数
1	21. 4. 16	飛騨保健所	PCR産物	7	0	7
			食品	7		
			水	1		
			拭き取り	8		
2	21. 4. 20	岐阜保健所 本巣・山県センター	PCR産物	35	0	34
			食品	3		
			拭き取り	10		
3	21. 5. 25	岐阜保健所 関保健所	PCR産物	3	0	3
			拭き取り	7		
4	21. 6. 17	西濃保健所	PCR産物	1		1
5	21. 6. 22	岐阜保健所 中濃保健所	PCR産物	6	1	5
			拭き取り	3		
6	21. 12. 21	岐阜保健所	PCR産物	1		1
7	22. 1. 9	岐阜保健所 郡上センター	PCR産物	9	0	9
			食品	2		
			拭き取り	5		
8	22. 1. 10	岐阜保健所	PCR産物	3		3
9	22. 1. 15	岐阜保健所	PCR産物	15		15
10*	22. 1. 26	岐阜保健所	患者糞便	9	9*	
11	22. 2. 16	岐阜保健所 本巣・山県センター	PCR産物	6	2	6
			食品	3		
12	22. 2. 16	郡上センター	拭き取り	5	2	2
13	22. 2. 21	岐阜保健所	PCR産物	1		1
14	22. 2. 22	飛騨保健所	PCR産物	5	4	5
			拭き取り	6		
15	22. 2. 28	岐阜保健所	PCR産物	1		1
16	22. 3. 5	西濃保健所	PCR産物	22	0	22
			拭き取り	7		
小計			PCR産物	115		113
			患者糞便	9	9	
			食品	15	2	2
			水	1	0	
			拭き取り	51	13	13
合計				191	24	128

※サポウイルス遺伝子

5) エイズウイルス抗体検査

免疫クロマトグラフィー法で迅速診断を行っている保健所から依頼のあった4検体について、PA（ゼラチン粒子凝集）法で追加検査を行った（表3）。

表3 エイズ検査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
追加検査	1						1					2	4

6) B型肝炎ウイルス抗原及びC型肝炎ウイルス抗体検査

エイズウイルス抗体検査依頼者で、B型及びC型肝炎検査希望者に対し、免疫クロマトグラフィー法によるB型肝炎抗原、及びC型肝炎抗体のスクリーニング検査を実施した（B型肝炎 164 検体、C型肝炎 164 検体）。

7) 肝炎ウイルス相談・検査事業

B型肝炎 122 検体、C型肝炎 124 検体の検査依頼があり、免疫クロマトグラフィー法によるB型肝炎抗原、及びC型肝炎抗体のスクリーニング検査を実施した（表4、5は6）、7)の合計）。

表4 B型肝炎抗原スクリーニング検査状況

保健所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
岐阜	4	3	2	2	3	1	11	12	6	3	5	3	55
西濃		1	1		2		3	1	1	3	2	3	17
関		5	1	3	4		4	5	1		1		24
中濃	6	7	5	4	2	6	9	1	6	3	4	5	58
東濃	2	5	3		3	6	8	8	9	7	6	6	63
恵那		1	1			4	5	7	5	1	3	2	29
飛騨		4	1	4	5	1	3	2	6	5	5	4	40
計	12	26	14	13	19	18	43	36	35	25	26	23	286

表5 C型肝炎抗体スクリーニング検査状況

保健所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
岐阜	4	3	2	2	3	1	11	12	6	3	5	3	55
西濃		1	1		2		4	1	1	3	2	3	18
関		5	1	3	4	1	4	5	1		1		25
中濃	6	7	5	4	2	6	9	1	6	3	4	5	58
東濃	2	5	3		3	6	8	8	9	7	6	6	63
恵那		1	1			4	5	7	5	1	3	2	29
飛騨		4	1	4	5	1	3	2	6	5	5	4	40
計	12	26	14	13	19	19	44	36	34	22	26	23	288

8) 新型インフルエンザ検査

2009年大流行した新型インフルエンザについて、厚生労働省からの通知に基づく「全数把握」等により24時間体制での遺伝子検査を行った。

「全数把握」では143人分の検体を検査し、99人分の検体から新型インフルエンザウイルス遺伝子が、5人分の検体からAソ連型インフルエンザウイルス遺伝子が、9人分の検体からA香港型インフルエンザウイルス遺伝子が検出された。「クラスターサーベイランス」では72人分の検体を検査し、68人分の検体から新型インフルエンザウイルス遺伝子を検出した。更に「入院サーベイランス」では403人分の検体を検査し、346人分の検体から新型インフルエンザウイルス遺伝子を検出した。

〔細菌関係〕

1) 細菌性食中毒

保健所からの検査依頼事例（疑い含む）を表6に示した。

表6 細菌性食中毒（疑い含む）検査状況

事例 No.	発生年月日	保健所	菌名	菌株(検体)数	検査項目
1	21. 4. 16	岐阜	黄色ブドウ球菌	4	エンテロトキシン検出
			セレウス菌	7	嘔吐毒合成遺伝子検出
2	21. 5. 3	岐阜 西濃	ウェルシュ菌	10	血清型別, エンテロトキシン産生遺伝子検出
3	21. 5. 4	中濃	サルモネラ	3	同定, 血清型別
4	21. 5. 19	岐阜	ウェルシュ菌	5	エンテロトキシン産生遺伝子検出
			大腸菌	1	同定, 血清型別, 病原遺伝子検出
5	21. 6. 15	西濃	ウェルシュ菌	8	エンテロトキシン産生遺伝子検出
			サルモネラ	2	同定, 血清型別
6	21. 6. 21	岐阜	カンピロバクター	4	同定
7	21. 8. 16	西濃	腸管出血性大腸菌	4	同定, 血清型別, 志賀毒素遺伝子検出
8	21. 9. 29	岐阜	カンピロバクター	8	同定
9	21. 10. 22	岐阜	腸管出血性大腸菌	3	同定, 血清型別, 志賀毒素遺伝子検出, パルスフィールドゲル電気泳動
10	21. 11. 8	岐阜	ウェルシュ菌	19	エンテロトキシン産生遺伝子検出
11	22. 1. 6	岐阜	黄色ブドウ球菌	10	エンテロトキシン産生遺伝子検出
			ウェルシュ菌	8	エンテロトキシン産生遺伝子検出
12	22. 2. 9	岐阜	カンピロバクター	16	同定
合 計				112	

2) 輸入食品の検査

輸入ナチュラルチーズ5検体についてリステリア菌の分離検査を実施した。その結果、すべての検体の陰性が確認された。

3) レジオネラ属菌実態調査

県内入浴施設等の浴槽水28検体由来のレジオネラ属菌116株について、同定検査及び血清型別検査を実施した。その結果、すべての検体から *Legionella pneumophila* が検出された。血清型は、血清群1(11検体)、血清群5(8検体)、血清群6(8検体)、及び血清群3(6検体)が多かった。

4) レジオネラ症患者発生に伴う検査

レジオネラ症患者発生に伴う保健所の調査において、患者利用施設の浴槽水等から検出されたレジオネラ属菌160株(5事例)について同定検査及び血清型別検査を実施した。このうち、患者株が確保できた2事例についてパルスフィールドゲル電気泳動法により施設由来株との比較を行ったところ、1事例においてパターン的一致が確認された。

5) 3類感染症の検査

腸管出血性大腸菌感染症の発生に伴い患者等から分離された33株について、同定検査、血清型別検査及び志賀毒素遺伝子検査を実施した。血清型はO157:H7が28株、O26:H11が3株、O113:H21が1株であった。また1株は志賀毒素遺伝子陰性であった。

6) 4類感染症の検査

ライム病（疑）患者の発生があり，血清の抗体検査を国立感染症研究所へ依頼した．その結果，陽性が確認された．

7) 結核・感染症発生動向調査事業病原体検査指針による細菌検査

感染性胃腸炎 1 検体，細菌性髄膜炎 4 検体，百日咳 1 検体，その他 3 検体の検査を実施した．

8) 業態者検便由来株の血清型別検査

業態者検便由来のサルモネラ 2 株について，同定検査及び血清型別検査を実施した．

9) 無菌試験

医療機器一斉監視指導に係わる収去検査において，コンタクトレンズ 3 検体の無菌試験を実施した．その結果，すべての検体の陰性が確認された．

3.1.3 依頼検査

業態者検便由来のサルモネラ 11 株について，同定検査及び血清型別検査を実施した．

3.2 生活科学部

3.2.1 調査研究

1) 指定薬物の分析法に関する研究

(平成 21 年度～22 年度)

薬事法の改正に伴って新たに示された「指定薬物」についてガスクロマトグラフ質量分析または液体クロマトグラフ質量分析の解析用データベースを作成するため，「指定薬物」を必要な手続きを経た後，入手した．また，文献検索や技術研修により，分析条件等の情報収集を行い，分析条件の検討を行った．

2) 連携大学院

がん転移に関する研究を行った．特にがん細胞の周辺組織に対する浸潤を促進する細胞運動刺激因子であるオートクラインモティリティファクター（AMF），オートタキサン（ATX）について研究を行い，いくつかの新しい知見を得た．AMF，ATX はそれぞれがん細胞の運動を刺激する以外に，マップキナーゼ経路を介する細胞内シグナリングにより組織浸潤に重要な役割を果たすマトリックスメタロプロテイナーゼの分泌を促進することを明らかにした．また AMF および ATX による刺激は ATX 産生を促進するが，AMF 分泌は低酸素条件でのみ促進されることも発見した．したがって腫瘍が成長して内部の細胞が低酸素状態になったときこれらの因子の発見が促され，悪性化する機構が明らかになった．

3.2.2 行政検査

[薬品関係]

1) 医薬品等一斉取締における規格試験

1. 溶出試験

ベザフィブラートを含有する医療用医薬品について，県内の医薬品卸売販売業者が保管する製品（先発医薬品 2 製品および後発医薬品 16 製品，324 項目）の溶出試験を実施した．その結果，全て規格に適合していた．

2. 医薬品

県内製造医薬品の内服固形製剤 2 検体（定量試験 2 項目）について収去検査を実施した．その結果，2 検体は規格に適合しなかった．

2) 医療機器一斉取締における規格試験

県内で製造される医療機器で、ソフトコンタクトレンズ2検体(8項目)について収去検査を実施した。その結果、全て規格に適合していた。

3) 無承認無許可医薬品に係る医薬品成分等の試験

いわゆる健康食品と称する無承認無許可医薬品の監視として、県内のドラッグストアより買上された痩身目的の健康食品10検体及び滋養強壮目的の健康食品11検体について検査を実施した。痩身目的の検体については、フェンフルラミン、N-ニトロソフェンフルラミン、ノルエフェドリン、エフェドリン、フェンテルミン、シブトラミン、マジンドールの検査(定量試験70項目)を、滋養強壮目的の検体については、ピロカルピン、エフェドリン、ヨヒンビン、シルデナフィル、バルデナフィル、タダラフィルの検査(定量試験66項目)を実施したが、全て検出されなかった。

4) 大麻草の有毒成分等の試験

県内大麻草栽培者から、種子採取用に残された大麻草256検体を収去し、幻覚成分である Δ^9 -テトラヒドロカンナビノール及び幻覚作用を有しないカンナビジオール(定量試験512項目)の試験を実施した。

5) 登録試験検査機関における外部精度管理

トラネキサム酸錠(250mg)について、定量試験6回、含量均一性試験2回、質量偏差試験2回、システム適合性試験(分離度)2回およびシステム再現性試験(相対標準偏差)2回を実施した。

[生活衛生関係]

1) 家庭用品規格試験

有害物質を含有する繊維製品など家庭用品延べ63検体を対象にホルムアルデヒド、トリクロロエチレン等延べ75項目について検査した。その結果、すべての製品において規格基準値以内であった。その内訳を表7、表8及び表9に示した。

表7 繊維製品

	帽子	おしめ	おしめカバー	よだれ掛け	外衣	中衣	寝具	靴下	下着	寝衣	手袋	計
ホルムアルデヒド(乳幼児用)	3			6	5	7		9	9	4	6	49
ホルムアルデヒド(乳幼児用以外)								6	4			10
計	3	0	0	6	5	7	0	15	13	4	6	59

表8 洗剤

	0.1N水酸化ナトリウム消費量	漏水試験	落下試験	圧縮変形試験	耐アルカリ試験	計
住宅用洗剤	2	2	2	2	2	10

表9 化学製品

	メタノール	テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	計
家庭用エアロゾル	2	2	2	6

2) 衛生害虫関係の検査

県内保健所、県域振興局等から相談された衛生害虫の鑑別相談を行った(4件)。主なものは、タカラダニ、アナバチ、コクヌストモドキ、チャバネゴキブリであった。

3.3 環境科学部

3.3.1 調査研究

1) 省エネ型高効率 VOC 分解装置の開発に関する研究

(環境省地域の産学官連携による環境技術開発基盤整備モデル事業)

(平成18年度～21年度)

大気汚染防止法の改正により平成18年4月1日からVOC(揮発性有機化合物)の排出抑制対策がスタートした。対策の枠組みとしては、一定規模以上の排出施設への直接規制とそれ以外の中小規模施設における自主的取組のベストミックスにより全体の排出量を抑制していこうとするものであるが、自主的取組を期待される中小企業においては費用面等から対策が遅れがちである。そこで、中小企業向けに安価で小型なVOC分解装置の開発を目指すこととし、平成21年度は改良した試作機を用いて金属塗装工場における実証試験を行った。

2) 岐阜県における大気汚染物質の発生要因の解明と除去に関する基礎的研究

(平成21年度～22年度)

「光化学オキシダント等大気汚染物質の発生要因の解明」として、美濃加茂測定局の光化学オキシダントに影響を与える因子について統計的な解析を行ったところ、誤差を減少させるためには天候のデータの取り扱いに工夫が必要であることがわかった。また、光化学オキシダントにより二次生成する浮遊粒子状物質(SPM)の挙動の解明を行うため、SPMのサンプリングと成分分析を行った。「大気汚染物質の除去に関する基礎的研究」については、光半導体の熱励起による炭化水素等の大気汚染物質の分解に関する基礎的検討として、高機能光半導体利用排ガス浄化基礎試験と光半導体設置システムの検討を行った。

3) 汚染土壌の環境修復技術とモニタリング手法に関する研究

(平成21年度)

廃棄物・再生材の利用促進や資源循環・廃棄過程に関連するリスク管理試験法として、日常のモニタリングや化学分析の代替法等としての簡易法の開発整備を行うとともに、その適用性について評価する。本年度は、廃棄物として溶融スラグを用いて、溶出試験及び含有量試験の公定法と簡易法についての比較試験を実施したとともに、試験機を一般廃棄物処理施設へ持ち込み現場での活用について評価し、簡易法の有用性について評価した。

3.3.2 委託調査

1) 東アジア酸性雨モニタリング調査(環境省委託)

伊自良湖が東アジア酸性雨モニタリングネットワークの生態影響調査地点に指定され、陸水調査、大気環境調査、降下物調査を実施した(表10)。

表10 調査項目等の概要

調査名		地点	回数	調査項目	延項目数
陸水	湖沼水	2	年4回	pH, EC, アルカリ度, Na ⁺ , K ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ , SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , Chl-a 等	680
	河川	4			
湿性降下物		1	1週間毎	pH, EC, SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , K ⁺ , Na ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ , 雨量	572
乾性降下物		1	毎時測定	NO, NO ₂ , SO ₂ , O ₃ , SPM 気象データ(気温, 湿度, 風向, 風速, 日射量)	1,095
乾性降下物 (フィルターパック法)		1	2週間毎	NH ₃ , HNO ₃ , HCl, SO ₂ , SO ₄ ²⁻ , NO ₃ ⁻ , Cl ⁻ , NH ₄ ⁺ , K ⁺ , Na ⁺ , Ca ²⁺ , Mg ²⁺ 等	312

2) 化学物質環境実態調査（環境省委託）

環境中に残留している可能性のある化学物質の挙動及び実態を把握するため、表11に示す調査を実施した。

表11 化学物質環境汚染実態調査の概要

調査名	調査地点	調査項目
モニタリング調査（POPs条約対象物質等の経年的なモニタリング調査）	各務原市 （岐阜県保健環境研究所）	POPs条約対象27物質群， ポリブロモジフェニルエーテル類， ペンタクロロベンゼン
初期環境調査（PRTR制度候補物質等の環境残留状況を把握するための調査）	各務原市 （岐阜県保健環境研究所）	m-ニトロアニリン
詳細環境調査（化審法第2種特定化学物質選定のための環境残留実態把握調査）	各務原市 （岐阜県保健環境研究所）	ジイソプロピルナフタレン

3) 環境放射能水準調査（文部科学省委託）

環境中における人工放射性物質の蓄積状況の把握及び住民の被曝線量の推定を主な目的として、平成2年度から調査を実施している。平成21年度における平常時の環境放射能測定の概要は表12のとおりであり、異常値等は認められなかった。また、北朝鮮の核実験に伴うモニタリング強化（緊急時の環境放射能測定）の概要は表13のとおりであり、異常値等は認められなかった。

表12 環境放射能水準調査内訳（平常時）

事業項目	測定地点数	測定対象	延測定回数	備考
全ベータ放射能測定調査	1	雨水	61	降雨毎
核種分析調査	10	大気浮遊じん，降下物，土壌 陸水，精米，野菜，茶，牛乳	25	野菜は大根と ホウレン草
モニタリングポストによる 空間線量率調査	1	大気（ガンマ線）	362 (連続)	3日間は欠測

表13 環境放射能水準調査内訳（緊急時）

事業項目	測定地点数	測定対象	延測定回数	備考
核種分析調査	1	大気浮遊じん，降下物	21	5/25-6/5
モニタリングポストによる 空間線量率調査	1	大気（ガンマ線）	13 (連続)	5/25-6/5

4) 岐阜県環境計量証明事業協会統一精度管理調査（岐阜県環境計量証明事業協会技術支援）

調査参加機関における分析手法や分析技術の改善に貢献し、環境測定データの信頼性の確保に資することを目的として、県内の環境測定に従事する12事業所を対象とした統一精度管理調査を実施した（表14）。

表14 岐阜県環境計量証明事業協会統一精度管理調査の概要

調査試料	調査項目
模擬水質試料2種類	カドミウム，鉛，亜鉛の分析値と分析に係る諸条件

3.3.3 行政検査

[大気関係]

1) アスベスト建材除去作業現場及び一般環境実態調査

平成18年度から飛散性及び非飛散性アスベスト建材除去作業現場の実態調査を実施して、周辺環境への影響を監視している。また、県内5地点の一般大気環境測定を実施し、大気中アスベスト濃度の把握に努めている(表15)。

表15 アスベスト実態調査内訳

実施区分	測定事業所数または測定地点数	延検体数
飛散性アスベスト建材除去作業現場	5	13
非飛散性アスベスト建材除去作業現場	1	2
一般大気環境測定	5	5

2) 大気環境監視テレメータシステム

現在、県下18地点の大気環境自動測定局(自動車排出ガス測定局4局を含む。)で常時監視を行っている。平成21年度の環境基準達成状況は、二酸化窒素の全ての測定局で基準を達成したが、二酸化硫黄は中津川が環境基準値を超過した。浮遊粒子状物質は、3月21日の黄砂日において15局が環境基準値を超過した。また、光化学オキシダントは、前年度と同様に12局全てが環境基準値を超過し、注意報等の発令状況は、予報のみの発令が4日、注意報の発令が3日あった。これら各測定局の毎時データは、インターネットで情報の提供を行っている(表16)。

表16 大気環境測定局及び測定項目一覧表

地域	測定局名称	測定項目								
		二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	窒素酸化物		光化学オキシダント	一酸化炭素	炭化水素		風向風速
				一酸化窒素	二酸化窒素			非メタン	メタン	
岐阜	岐阜中央	○	○	○	○	○				○
	岐阜南部	○	○	○	○	○		○	○	
	岐阜北部	○	○	○	○	○				
	岐阜明德自排		○	○	○		○			
	各務原	○	○	○	○	○				○
西濃・羽島	大垣中央	○	○	○	○	○				○
	大垣南部	○	○	○	○	○				○
	大垣自排		○	○	○					○
	羽島	○	○	○	○	○				○
中濃	美濃可茂	○	○	○	○	○				○
	可児自排		○	○	○					○
東濃	土岐	○	○	○	○					○
	土岐自排		○	○	○					○
	瑞浪	○	○							○
	笠原	○	○	○	○	○				○
	中津川	○	○			○				○
飛驒	高山	○	○	○	○	○				○
	乗鞍	○	○	○	○	○				○

3) 大気環境測定車による調査

大気環境測定車「あおぞら号」により、大気環境自動測定局未設置地域2地点における一般環境調査(表17)と、国道の周辺5地点における交通公害調査(表18)を実施した。なお、乗鞍スカイライン(豊平)については、マイカー規制実施に伴う大気環境調査として実施している。

調査結果は、一般環境調査及び交通公害調査とも前年度と比較してほぼ同程度であった。

表17 一般環境調査地点

地域	調査地点
中濃	中濃総合庁舎
飛騨	乗鞍スカイライン(豊平)
2地点(2市)	

表18 交通公害調査地点

道路名	調査地点名
国道19号	多治見市文化会館
国道21号	J A かかみがはら鶴沼西部支店 関ヶ原町さくらんぼの家
国道41号	高山市石浦公民館
国道258号	海津市南濃体育館
4路線 5地点	

4) 公害発生源立入検査に伴う揮発性有機化合物(VOC)の測定

県内の揮発性有機化合物(VOC)排出施設に立ち入り事前調査を行うことでその排出状況を把握し、指導強化に努めた(表19)。

表19 VOC測定調査内訳

立ち入り調査したVOC排出施設	測定項目	延検体数
5ヶ所	排ガス中の揮発性有機化合物(VOC)濃度	5

[水質関係]

1) 水質環境基準監視測定(地下水)

水質汚濁防止法第16条1項の規定による水質測定計画に基づいて、地下水の概況調査(メッシュ方式)110地点、揮発性有機化合物(VOC)重点調査66地点、モニタリング調査56地点について環境基準項目の測定を実施した。延べ項目数は3,630であった(表20)。

表20 地下水の水質基準監視測定の概要

振興局および事務所	概況調査 (メッシュ方式)	揮発性有機化合物 (VOC)重点調査	モニタリング調査	延項目数
岐阜	21	9	12	657
西濃	20	16	6	702
揖斐	9	1	0	245
中濃	13	9	11	448
中事	14	11	3	488
東濃	9	4	20	307
恵那	9	6	1	279
飛騨	15	10	3	504
合計	110	66	56	3,630

2) 河川水、土壌および地下水の汚染事故による調査

各務原市、山県市、垂井町、大野町、川辺町、関市、恵那市ならびにその他で明らかにされた硫酸銅、六価クロム、砒素、鉛、ほう素、硝酸性窒素および亜硝酸性窒素等による河川水、土壌ならびに地下水汚染に伴い、周辺の河川水や地下水の水質検査を実施した。延件数642件、延項目数は899であった(表21)。

表 21 河川・土壌・地下水汚染事故に伴う調査の概要

振興局および事務所	市町村	件数	延項目数	測定項目
岐阜	各務原市, 山県市	16	19	六価クロム, pH, 硫酸銅
西濃	不破郡垂井町	5	5	砒素
揖斐	揖斐郡大野町	39	78	六価クロム, 砒素
中濃	加茂郡川辺町	16	16	硝酸性窒素および亜硝酸性窒素
中事	関市	337	552	六価クロム, 鉛, ほう素
恵那	恵那市	229	229	砒素
合計		642	899	

3) フェロシルトによる土壌汚染事故に伴う地下水・土壌調査

瑞浪市, 中津川市, 本巣市, その他で明らかにされたフェロシルト埋設地周辺の河川水・地下水調査, 土壌の溶出試験を実施した。延件数 41 件, 延項目数は 82 であった。

4) 魚類へい死事故に係る水質調査

関市地内の武儀川における魚類へい死事故の原因究明のため, 魚体等の分析を実施した。延件数 5 件, 延項目数は 484 であった。

[廃棄物関係]

1) リサイクル認定製品調査

岐阜県リサイクル認定製品について, 社会的信頼性の確保のための安全性を確認するため, 既認定製品及び新規認定製品についての検査を実施した(表 22)。

表 22 リサイクル認定製品の調査概要

	検体数	延項目数
既認定製品	64	665
新規認定製品	9	95
合計	73	760

[微量化学物質関係]

1) ダイオキシン類モニタリング調査

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定に基づき, 県内の環境大気, 河川水, 地下水, 河川底質, 発生源周辺土壌中のダイオキシン類を測定した(表 23)。

表 23 ダイオキシン類モニタリング調査

調査内容		地点数	検体数
一般調査	環境大気	3	6
	河川水	8	8
	河川底質	6	6
	地下水	5	5
	発生源周辺土壌	12	12
追跡調査	河川水	2	8
	河川底質	2	2
合計		38	47

3.4 食品安全検査センター

3.4.1 調査研究

1) 食品・添加物等規格基準に関する試験検査等について(厚生労働省受託研究)

(平成21年度)

食品中に残留する農薬、動物用医薬品等の対策として、厚生労働省では従来から食品中の残留基準の整備拡充を行っており、平成18年5月にはポジティブリスト制度が施行された。これに伴い、「残留農薬分析法検討会」が設置され、残留基準の設定された農薬等の一斉分析法、個別分析法の検討が行われている。当所も委員の一員として参画し、平成21年度は、公定試験法が定まっていない農薬「ブトロキシジム」個別試験法の開発を行った。

2) 蜂蜜中の残留動物用医薬品等の多成分分析法に関する研究

(平成20年度～21年度)

本県は近代養蜂の発祥の地として、養蜂業が盛んであるが、ミツバチの疾病予防のために動物用医薬品が使用されることがあり、蜂蜜への残留が懸念されている。残留農薬等のポジティブリスト制度の施行に伴い、動物用医薬品についても微量レベル(0.01ppm)の基準を適用する高精度な分析が求められている。蜂蜜は水分含量の少ない濃縮された天然食品で、夾雑成分を多く含んでおり、現在これに応え得る多成分分析法は確立されていない。蜂蜜の安全性向上および県民の食生活の安全性確保に寄与するため、夾雑成分等の影響を受けにくい信頼性の高い動物用医薬品の分析法の開発を目指し、21年度は、高速液体クロマトグラフ質量分析計(LC/MS)、高速液体クロマトグラフタンデム型質量分析計(LC/MS/MS)の測定条件及び蜂蜜からの精製条件について検討を行った。

3.4.2 行政検査

1) 残留抗生物質検査

抗生物質は、動物用医薬品として畜水産動物の感染治療や予防に用いられるほか、飼料の栄養成分の有効利用を促進する目的で、飼料添加物としても使用されている。この中で使用量の多い抗生物質について牛乳11検体中のオキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン及びテトラサイクリンについて残留検査を実施した結果、いずれの検体からも抗生物質は検出されなかった。

2) 残留合成抗菌剤

国内で生産されている鶏卵12検体(県内産11検体、県外産1検体)について、サルファ剤5種(スルファチアゾール、スルファメラジン、スルファジミジン、スルファモノメトキシ、スルファジメトキシ)とトリメトプリムの残留検査を実施した結果、いずれも不検出であった。

3) 重金属検査

県内で生産された玄米3検体についてカドミウムの検査を行った。その結果、0.02, 0.02, 0.13ppmであり、成分規格基準(1.0ppm未満)に適合していた。

4) 残留農薬検査

食品衛生法の残留農薬基準が大幅に改正され、新たにポジティブリスト制の導入がなされ、平成18年5月29日から施行された。平成21年度はポジティブリスト制の導入により、前年度より項目数を増やして検査を行った。

平成21年度は県内産農産物63検体、県外産農産物7検体、牛乳4検体の計74検体について延べ13,316項目の検査を実施した。その結果、いずれの検体からも基準値以上の農薬は検出されなかった(表24)。

表 24 残留農薬の検査結果

試料名	検体数	検査項目数	検査結果
県内産野菜	44	8,360	アセタミプリド(0.01ppm/1検体), アセフェート(0.008~0.075ppm/2検体), アゾキシストロピン(0.012ppm/1検体), イミダクロプリド(0.006~0.068ppm/4検体), エトフェンプロックス(0.009~2.1ppm/3検体), キヤブタン(0.044ppm/1検体), クロルフルアズロン(0.085ppm/1検体), クロクロニル(0.029ppm/1検体), シヘルメトリン(0.044~0.51ppm/2検体), テフコナゾール(0.012ppm/1検体), テフルリン(0.003ppm/1検体), トリフルミゾール(0.006ppm/1検体), トルフェンピラト(0.017~0.028ppm/2検体), ピリタベン(0.009ppm/1検体), フェナモル(0.003ppm/1検体), フサライト(0.004ppm/1検体), フルフェノクスロン(0.047~0.81ppm/2検体), プロチオホス(0.0039ppm/1検体), ヘルメトリン(0.068ppm/1検体), ヘンテイメタリン(0.032ppm/1検体), メタミトホス(0.017~0.12ppm/2検体), ルフェスロン(0.007ppm/1検体)
県内産果実	14	2,660	アクリナトリン(0.071ppm/1検体), アセタミプリド(0.015~0.39ppm/3検体), アゾキシストロピン(0.098ppm/1検体), イプロシオン(0.060ppm/1検体), クレシキムメチル(0.011ppm/1検体), クロルフェナピル(0.010~0.016ppm/2検体), シアホス(0.0048ppm/1検体), テフコナゾール(0.016ppm/2検体), ピテルタノール(0.046ppm/1検体), ピリタベン(1.4ppm/1検体), フェンプロバトリン(0.16ppm/1検体), ププロフェジン(0.011ppm/1検体)
県内産穀類	2	380	全て不検出
県内産茶	3	570	アセタミプリド(0.042ppm/1検体), アゾキシストロピン(0.045ppm/1検体), イミダクロプリド(0.11ppm/1検体), シラフルオフェン(0.49ppm/1検体), チアクロプリド(0.45ppm/1検体), フルフェノクスロン(0.55ppm/1検体), ホサロン(0.025ppm/1検体), ルフェスロン(0.038ppm/1検体)
県外産農産物	7	1,330	アセフェート(0.024ppm/1検体), インドキサカルブ(0.006ppm/1検体), チアトキサム(0.023ppm/1検体), プロシミトリン(0.020ppm/1検体), メタミトホス(0.009ppm/1検体), メタラキシル(0.024ppm/1検体), プロチオホス(0.0021ppm/1検体)
牛乳	4	16	全て不検出

5) PCB 検査

PCB 汚染として最も重要なものとして考えられる食品のうち、牛乳2検体について検査を実施した。測定結果はすべて不検出であった(表 25)。

表 25 食品中に残留する PCB

食品名	検体数	検査結果	暫定的規制値
牛乳	2	不検出	0.1ppm

6) 陶磁器製器具の規格試験

県内産陶磁器製品 46 検体についてカドミウム及び鉛の溶出試験を行った結果を表 26 に示した。カドミウム及び鉛について、全ての検体で規格に適合していた。

表 26 陶磁器の規格及び検査結果

区分		規格		不適/検体	鉛		カドミウム	
		鉛	カドミウム		鉛	カドミウム		
深形のもの (深さ2.5 cm以上)	容量1.1 l 以上	1ppm	0.25ppm	0/5	不検出	不検出	不検出	不検出
	容量1.1 l 未満	2ppm	0.5ppm	0/20	不検出~0.9ppm	不検出~0.03ppm	不検出	不検出
浅形のもの(深さ2.5 cm未満)		8 μg/cm ²	0.7 μg/cm ²	0/21	不検出~0.4 μg/cm ²	不検出~0.07 μg/cm ²	不検出	不検出

7) 輸入食品の検査

1. 残留農薬検査

野菜 34 検体, 果実 5 検体, 豆類 13 検体, 熱帯産果実 13 検体, かんきつ類果実 7 検体, 穀類 6 検体, 種実類 2 検体, 茶 1 検体の計 81 検体について延べ 15,390 項目の残留農薬の検査を実施した。全ての検体から基準値以上の農薬は検出されなかった(表 27)。

表 27 残留農薬の検査結果

試料名	検体数	検査項目数	検査結果	試料名	検体数	検査項目数	検査結果
かぼちゃ	2	380	イミダクロプ [®] リト [®] (0.02ppm/1検体), クロルピ [®] リホス(0.016ppm/1検体)	くるみ	1	190	不検出
カリフラワー	1	190	不検出	ごま	1	190	不検出
ごぼう	2	380	不検出	小麦粉	3	570	不検出
まつな	1	380	イミダクロプ [®] リト [®] (0.006ppm/1検体), クロルフルアス [®] ロン(0.085ppm/1検体), シハ [®] ルメトリン(0.51ppm/1検体)	もちきび	1	380	不検出
といも	5	950	不検出	ぶどう	3	570	イミダクロプ [®] リト [®] (0.005~0.13ppm/2検体), エトキシゾ [®] ール(0.013ppm/1検体), ヒ [®] ラクロストロビ [®] ン(0.004ppm/1検体), ホ [®] スカリト [®] (0.058ppm/1検体), メトキシフェ [®] ジト [®] (0.12ppm/1検体), マイクロ [®] タニル(0.035ppm/1検体)
しいたけ	1	190	不検出	オレンジ	3	570	イマザ [®] リル(0.63~1.6ppm/3検体), クロルピ [®] リホス(0.077ppm/1検体), シマ [®] ジ [®] ン(0.025ppm/1検体),
しょうが	2	380	不検出	グレープフルーツ	2	380	イマザ [®] リル(0.095~0.12ppm/2検体), イミダクロプ [®] リト [®] (0.029ppm/1検体), クロルフェ [®] ナピ [®] ル(0.01ppm/1検体), ヒ [®] ラクロストロビ [®] ン(0.061ppm/1検体), ヒ [®] リ [®] プロキシフェ [®] ン(0.034ppm/1検体)
セロリ	2	380	アセ [®] フェ [®] ート(0.17ppm/1検体), オキサミ [®] ル(0.037ppm/1検体), ジ [®] クロ [®] ラン(0.31ppm/1検体), ヒ [®] ラクロストロビ [®] ン(0.057ppm/1検体), プロ [®] ピ [®] コ [®] ナ [®] ール(0.016ppm/1検体), ヘ [®] ルメトリン(0.067ppm/1検体), メ [®] タミ [®] ト [®] ホ [®] ス(0.048ppm/1検体), リ [®] ニ [®] ユ [®] ロン(0.01ppm/1検体)	レモン	2	380	イマザ [®] リル(1.1ppm/1検体), 2.4D(0.018~0.046ppm/2検体)
うもろこし	2	380	不検出	アボガド	2	380	ジ [®] メ [®] エ [®] ート(0.047ppm/1検体), パ [®] ラ [®] チ [®] オン [®] メ [®] チ [®] ル(0.006ppm/1検体)
なばな	1	190	不検出	キウイ	2	380	不検出
にんにく	2	380	不検出	パ [®] イ [®] ナ [®] ツ [®] ブル	4	760	不検出
ニンニクの芽	2	380	不検出	バナナ	2	380	クロルピ [®] リホス(0.012~0.018ppm/2検体)
ぎ	1	190	不検出	パ [®] ン [®] パイ [®] ヤ	2	380	ア [®] ゾ [®] キシ [®] スト [®] ロ [®] ビ [®] ン(0.071ppm/1検体), テ [®] ル [®] タ [®] メ [®] ト [®] リン(0.03ppm/1検体), ア [®] ジ [®] ン [®] ホ [®] ス [®] メ [®] チ [®] ル(0.021ppm/1検体), ア [®] ゾ [®] キシ [®] スト [®] ロ [®] ビ [®] ン(0.039ppm/1検体), キャ [®] プ [®] タン(0.088~0.24ppm/2検体), シ [®] プ [®] ロ [®] ジ [®] ニ [®] ル(0.02~0.05ppm/2検体), ヒ [®] フェ [®] ント [®] リン(0.031ppm/1検体), ヒ [®] ラクロストロビ [®] ン(0.006ppm/1検体), フェ [®] ン [®] ヘ [®] キサ [®] ミ [®] ト [®] (0.098ppm/1検体), ホ [®] スカリト [®] (0.10~0.11ppm/2検体)
パ [®] プリ [®] カ	1	190	ア [®] クリ [®] ナ [®] ト [®] リン(0.029ppm/1検体), ア [®] セ [®] タ [®] ミ [®] プ [®] リ [®] ト [®] (0.020ppm/1検体), イ [®] ミ [®] ダ [®] ク [®] ロ [®] プ [®] リ [®] ト [®] (0.092ppm/1検体), イ [®] ン [®] ト [®] キ [®] サ [®] ル [®] ブ [®] (0.027ppm/1検体), クロ [®] ル [®] フ [®] エ [®] ナ [®] ピ [®] ル(0.05ppm/1検体), チ [®] ア [®] メ [®] キ [®] サ [®] ム(0.057ppm/1検体), テ [®] ト [®] ラ [®] コ [®] ナ [®] ール(0.098ppm/1検体), ヒ [®] フェ [®] ント [®] リン(0.013ppm/1検体), ル [®] フ [®] エ [®] ヌ [®] ロン(0.038ppm/1検体)	ブルーベリー	2	380	ア [®] ゾ [®] キシ [®] スト [®] ロ [®] ビ [®] ン(0.48ppm/1検体), イ [®] フ [®] ロ [®] ン [®] オン(0.14ppm/1検体), フェ [®] ント [®] エ [®] ート(0.008ppm/1検体)
ブ [®] ロ [®] コ [®] リー	4	1140	不検出	マンゴー	1	190	ア [®] セ [®] タ [®] ミ [®] プ [®] リ [®] ト [®] (0.18ppm/1検体), イ [®] ミ [®] ダ [®] ク [®] ロ [®] プ [®] リ [®] ト [®] (0.21ppm/1検体)
ほうれんそう	2	380	不検出	茶	1	190	
メロン	2	380	ヒ [®] フェ [®] ント [®] リン(0.0035ppm/1検体), イ [®] ミ [®] ダ [®] ク [®] ロ [®] プ [®] リ [®] ト [®] (0.017ppm/1検体)				
いんげん	3	570	エ [®] ト [®] フ [®] エン [®] プ [®] ロ [®] ク [®] ス(0.014ppm/1検体)				
えだまめ	2	380	シ [®] ハ [®] ル [®] メ [®] ト [®] リン(0.054ppm/1検体)				
大豆	6	1140	不検出				
バター豆	1	190	不検出				
ライマ豆	2	380	不検出				
落花生	2	380	不検出				

2. 食品添加物検査

わが国は、食料品の多くを海外に依存しているが、それらに使用される食品添加物の使用基準は国際的に不統一であるため、国内基準に合わない食品が輸入販売されている可能性がある。そこで、検疫所における検査結果等から、違反事例の多い項目を重点的に選んで、表28に示す検査を21検体について実施した。その結果、すべて基準に適合していた。

表28 輸入食品中の食品添加物検査結果

食品名	原産国	検体数	検査項目数	検査項目	検査結果	
菓 子	オーストリア	2	6	サイクラミン酸	不検出	
	中国	2	6	<i>tert</i> -ブチルトロキノン	不検出	
	フィリピン	1				
	ベトナム	1				
漬 物	中国	3	5	サイクラミン酸	不検出	
シロップ漬け	大韓民国	1				
	中国	1				
オレンジ	アメリカ	2	16	オルトフェニルフェノール	不検出～0.0005 g/kg	
	オーストラリア	1		パラベンタゾール	不検出～0.0006 g/kg	
グレープフルーツ	南アフリカ	1				
	アメリカ	1				
レモン	アメリカ	2				
ライム	ブラジル	1				
バナナ	フィリピン	2	4	オルトフェニルフェノール	不検出	
				パラベンタゾール	不検出	
合 計		21		37		

3. 残留抗生物質検査

輸入ハチミツ5検体について残留抗生物質（オキシテトラサイクリン、クロルテトラサイクリン、テトラサイクリン）の検査を実施した結果、すべて不検出であった。

4. 残留合成抗菌剤検査

輸入ウナギ加工品3検体についてマラカイトグリーン、ロイコマラカイトグリーンの残留検査を実施した結果すべて不検出であった。また輸入エビ8検体についてサルファ剤5種（サルファチアゾール、サルファメラジン、サルファジミジン、サルファモノメトキシ、サルファジメトキシ）とトリメトプリムの残留検査を実施した結果、いずれも不検出であった。

5. アフラトキシン検査

アフラトキシンは、代表的なカビ毒であり、ナッツ類、香辛料等に含有されている可能性がある。そこで輸入ナッツ5検体、赤唐辛子2検体についてアフラトキシンの検査を実施した結果、いずれの食品からも検出されなかった。

6. リステリアの検査

輸入ナチュラルチーズ5検体についてリステリア菌の分離検査を実施した結果、いずれの検体からも検出されなかった。

8) 遺伝子組換え食品検査

ジャガイモ加工品(8検体), 輸入大豆(8検体), トウモロコシ穀粒および加工品(16検体)の検査を実施した。いずれも組換え遺伝子是不検出であった。

9) 特定原材料(アレルギー物質)検査

表示以外の特定原材料物質の使用の有無について, 確認の検査を実施した。小麦(12検体), 卵(12検体), 落花生(8検体)の検査を実施した結果, いずれも陰性であった。

10) 緊急検査

食品中の化学物質が原因と思われる食中毒事例及び異味・異臭等の苦情に係る食品について, 保健所からの依頼検査を実施した。保育園児が花祭りで飲んだ甘茶, 里芋の煮物, 白菜の漬物等5検体について毒物及び農薬の簡易キット検査, 固相マイクロ抽出装置による揮発成分の定性, 残留農薬検査等のべ510項目の検査を実施した。また食中毒に係る検体について, 保健所からの依頼によりキノコの検査(3検体)を実施したところ, その内2検体から α -、 β -アマニチンを検出した。

4 技術指導及び支援

4.1 保健所検査担当者等の研修

期 日	研 修 内 容	受 講 者	担当部
H21年 5月12日	平成21年度公害関係立入事務研修会（講義，実習）	振興局環境課職員等 30名	環境科学部
H21年 6月11日 ～ 6月12日	第1回保健所試験検査担当者研修会（講義，実習）	保健所等 11名	保健科学部
H21年10月22日 ～ 10月23日	第2回保健所試験検査担当者研修会（講義，実習）	保健所等 9名	食品安全検査センター
H22年 2月26日	第3回保健所試験検査担当者研修会（講義）	保健所等 26名	保健科学部 食品安全検査センター

4.2 講師派遣

「研修講師等」

期 日	内 容	場 所	受 講 者	担当者
H21年10月30日 ～10月31日	薬剤耐性菌解析機能強化技術研修会	武蔵村山市	地方衛生研究所研究員 (30名)	白木
H21年11月25日	環境医学(集中講義)	岐阜大・医	医学部6年生 80名	高原
H22年 3月 8日	環境医学(集中講義)	岐阜大・医	医学部2年生 80名	高原

「出前講演」

期 日	内 容	場 所	受 講 者	担当者
H21年 4月 9日	遺伝子組み換え食品のはなし	岐阜市	岐阜北法人会徹明支部 定時総会 (30名)	羽賀
6月12日	・地下水汚染について ・酸性雨の現状 ・産学官連携共同研究事例	各務原市	岡村機工(株)社員 (36名)	佐々木 三原 西川
6月19日	新型インフルエンザについて	各務原市	可児市小中学校教頭会 (25名)	猿渡
6月24日	進め！那加第2調査隊	各務原市	小学生，講師 (23名)	岡 大塚
6月25日	かおりと健康	岐阜市	新生メディカル職員 (50名)	高原
11月11日 11月12日	新型インフルエンザについて (同一題目を2回講演)	各務原市	各務原市消防職員健康 管理講習会 (120名)	猿渡
11月18日	・インフルエンザについて ・食品の安全・安心について	各務原市	西濃食品衛生協議会輪 之内支部 (40名)	猿渡 原
H22年 2月18日	食品の異臭判定方法等について	四日市市	三重県食品監視協会 (20名)	高原

「所内見学」

期 日	団 体 名	人 数	見学先
H21年 6月 3日	名城大学学生	1	環境科学部
6月12日	岡村機工(株)	36	所全体
6月16日	各務原市総務課市民活動推進室「動く市民教室」	15	食品安全検査センター
6月19日	可児市小中学校教頭会	20	所全体
6月19日	愛知工業大学学生	3	環境科学部
6月26日	岐阜県技術士会	7	環境科学部
7月16日	各務原市総務課市民活動推進室「動く市民教室」	23	食品安全検査センター
7月21日	各務原市総務課市民活動推進室「動く市民教室」	21	食品安全検査センター
7月28日	揖斐郡学校給食研究協議会	19	食品安全検査センター
11月18日	西濃食品衛生協議会輪之内支部	15	食品安全検査センター
H22年 1月28日	岐阜大学応用生物科学部獣医学科課程学生	31	所全体

4.3 研修生の受入

期 日	研 修 内 容	受 講 者	担当者
H21年 4月24日 ～ 4月30日	食品の水分活性測定技術	イビデン物産(株) 林緑	多田
H21年 5月25日 H22年 3月31日	フロン類の分析技術	上田石灰製造(株) 武田智也	高原
H21年 6月 1日 ～H22年 3月31日	内装材のVOC除去性能評価	(株)ヤマセ 大森江理	西川
H21年 7月 8日	嗅覚官能試験	岐阜大学学生	高原

4.4 技術支援（現場での指導等）

期 日	研 修 内 容	受 講 者	担当者
H21年 5月22日	再生プラスチックによる腐食の原因解明について	県産業技術センター職員	西川 佐々木
6月 3日	酸性雨分析指導	名城大学学生	三原
6月19日	VOC分解処理装置について	(株)オーデン	西川 高原
6月29日	VOC対策について	佐々木コーティング(株)	西川 大塚
8月10日	排出VOCガスの実態調査について	(株)鶴飼	西川 大塚
10月 9日	堆肥舎の悪臭対策	東濃振興局 職員	高原
10月29日 ～H22年 3月23日	岐阜県医薬品等GXP研究会 ・総会 ・医薬品等GVP、GQP、GMPに関連した 「外部監査」に関する調査研究及び「監査チェッ クリスト」を作成 ・成果報告会	岐阜県医薬品等GXP研究 会	吉田
11月 5日	VOC分解実験の指導	(株)TYK	大塚 高原
H22年 2月 3日	岐阜県環境計量証明事業協会統一精度管理調査結果 報告会（グランベール岐山）	岐阜県環境計量証明事業協 会	佐々木
3月 1日	品質管理のためのガス分析法	フタムラ化学	高原

4.5 来所者等への個別指導

所属機関	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査センター
県 関 係	8	4	38	3
市 町 村	0	0	11	1
そ の 他	4	0	72	1
計	12	4	121	5

※民間検査機関、製造業者等を含む。

5 行 事

5.1 会議等

年 月 日	会 議 名	場 所	出席人数
21. 4. 8	岐阜県工業会第1回幹事会	各務原市	1
4. 15	環境行政会議	岐阜市	2
4. 17	保健所等関係課長会議	岐阜市	4
4. 20	市町村等環境保全担当者打ち合わせ会議	岐阜市	1
4. 22	保健所等生活衛生担当者チーフ会議	岐阜市	4
4. 29	第2回新型インフルエンザ対策本部幹事会	岐阜市	1
5. 2	第1回新型インフルエンザ対策庁内会議	岐阜市	1
5. 4	新型インフルエンザ対策庁内会議	岐阜市	1
5. 11	第1回試験研究機関部長会議	岐阜市	4
5. 13	地方衛生研究所東海ブロック会議	各務原市	6
5. 14	VOC第1回研究推進会議	各務原市	5
5. 16	第5回岐阜県新型インフルエンザ対策幹事会	岐阜市	1
5. 17	第6回岐阜県新型インフルエンザ対策幹事会	岐阜市	1
5. 22	ジェネリック医薬品試験研究打ち合わせ	名古屋市	1
6. 4	全国衛生化学技術協議会	東京都	1
6. 4	環境月間記念講演会	岐阜市	2
6. 4	岐阜県工業会第2回幹事会	各務原市	1
6. 8, 9	第1回リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
6. 16	第2回試験研究機関部長会議	岐阜市	4
6. 17	研究機関部長会議	岐阜市	4
6. 19	第30回地研全国協議会東海北陸支部総会	福井市	1
6. 24	全環研東海・近畿・北陸支部共同研究会議	神戸市	1
6. 30	環境産業プロジェクト会議	岐阜市	2
7. 9	平成21年度衛生微生物技術協議会総会	堺市	1
7. 9~10	薬剤耐性菌等に関する研究班打合せ会議	堺市	1
7. 9~10	衛生微生物技術協議会第30回研究会	堺市	3
7. 10	平成21年度東海地域環境試験研究機関所長会	浜松市	1
7. 10	東海地域環境研究所長、総務課長会議	浜松市	1
7. 22	環境測定統一精度管理調査結果説明会	大阪市	1
7. 23	JST育成研究打ち合わせ	名古屋市	1
7. 23	H21年度統一精度管理 東海近畿北陸支部ブロック会議	金沢市	1
7. 29	岐阜県土壌・地下水汚染対策検討会	岐阜市	2
7. 31	平成21年度全環研協議会東海近畿北陸支部	大阪市	1
8. 3	残留農薬等分析法検討会	東京都	1
8. 5	岐阜県工業会第3回幹事会	各務原市	1
8. 18~19	環境技術開発基盤整備モデル事業担当者会議	さいたま市	2
8. 21	共同研究打ち合わせ	名古屋市	1
9. 3	平成21年度全環研東海・近畿・北陸支部総会 表彰式	和歌山市	2
9. 8	第3回試験研究機関部長会議	岐阜市	4
9. 14	地方衛研東海北陸ブロック会議	名古屋市	1
9. 15	薬剤耐性菌等に関する研究班打合せ会議	東京都	1
9. 17	広域的健康危機管理対策体制整備	名古屋市	1
10. 7	VOC第2回研究推進会議	各務原市	5
10. 8, 9	第2回リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
10. 16	全環研協議会廃棄物専門部会	京都市	1
10. 20	第60回地方衛生研究所全国総会	奈良市	1
10. 26	東海地区環境試験研究機関会議大気騒音分科会	名古屋市	2
11. 20	東海地区環境試験研究機関会議水質分科会	浜松市	1

年月日	会 議 名	場 所	出席人数
12. 1	C型共同研究「光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究」近畿東海グループ会議	大阪市	1
12.10	臭気指数規制ガイドライン等地方公共団体説明会	東京都	1
12.10	東海地区環境研究機関会議化学物質分科会	静岡市	2
12.17	第4回試験研究機関部長会議	岐阜市	3
12.21	土壌地下水汚染対策検討委員会	岐阜市	1
22. 1.13	岐阜県工業会第5回幹事会	各務原市	1
1.13	東海地区環境試験研究機関会議企画運営情報分科会	静岡市	2
1.27	VOC第3回研究推進会議	各務原市	5
2. 4	第3回リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
2. 8	第3回試験研究機関所長会議	高山市	1
2. 8	第2回全環研共同調査研究打ち合わせ会議	神戸市	1
2.10	国設酸性雨・大気環境測定所担当者会議	東京都	1
2.10	研究機関部長会議	岐阜市	4
2.15	薬剤耐性菌等に関する研究班打合せ会議	東京都	1
2.18	研究課題連絡調整会議	岐阜市	4
2.18	第5回試験研究機関部長会議	岐阜市	4
2.19	全環研近畿ブロック有害化学物質部会	奈良市	1
2.25～26	第38回全国環境研協議会総会	東京都	1
2.25～26	全国環境研協議会 支部研究会	京都市	2
3. 3	岐阜県工業会技術交流会	各務原市	8
3. 4～5	地衛研東海北陸支部微生物部会	岐阜市	7
3. 5	環境技術開発基盤整備モデル事業担当者会議	東京都	2
3.10	岐阜県工業会第6回幹事会	各務原市	1
3.11～12	C型共同研究「光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染特性解明に関する研究」全体研究会	東京都	1
3.12	酸性雨モニタリング（陸水）担当者会議	名古屋市	1
3.12	酸性雨（陸水）委託事業説明会及び調査結果ヒアリング	東京都	1
3.17	平成21年度放射能分析確認調査技術検討会	東京都	1

5.2 研修会等

年月日	研 修 名	場 所	出席人数
21. 4.13～17	初任者研修	岐阜市	1
5.11～15	初任者研修	岐阜市	1
5.19～28	環境放射能分析研修 環境放射能分析・測定の基礎	千葉市	1
5.20～21	国設酸性雨測定所管理運営業務担当者講習会	新潟市	1
5.21	新任主査級研修	岐阜市	1
5.26	地域資源開発プロジェクト事業説明会	笠松町	1
6. 3	GC/MS操作セミナー	桑名市	2
6.12	新任課長補佐級研修	岐阜市	1
6.15～16	初任者体験研修	関市	1
6.24～26	バイオセーフティ技術講習会	東京都	2
7. 3	国際規制物資の使用に関する講習会	東京都	1
7. 3	ぎふ生命科学講演会	各務原市	多数
7. 7	GC/MSソリューションセミナー	名古屋市	1
7. 9	食品衛生監視員研修会	岐阜市	1
7.15～16	MSセミナー	名古屋市	1
7.17	分析技術講演会	名古屋市	1
7.28	セラミックス研究所・研究員研修会	多治見市	2
7.29	医薬品・医療機器の監視指導や麻薬対策	大阪市	1
7.30	新任チーフ級研修	岐阜市	1
7.30	第1回リン資源リサイクルシンポジウム	東京都	1

年月日	研 修 名	場 所	出席人数
8. 6～ 7	初任者体験研修	各務原市	1
8.10	研究打ち合わせ及びメンタルヘルス研修	岐阜市	1
8.24	食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	東京都	1
8.26～27	技術移転に係わる目利き人材育成研修会	岐阜市	2
9. 1	第3回日本薬局方に関する説明会	大阪市	1
9. 3	分析計測機器セミナー・展示会	千葉市	1
9. 4	2009分析展	千葉市	1
9. 7	生物食品技術研修会	各務原市	2
9.16	VOC対策フェア	東京都	1
9.18	科研費補助金公募要領等説明会	吹田市	1
9.18	2009地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展	東京都	1
9.28	I S O内部環境監査員研修会	岐阜市	1
10. 7～ 9	第20回HIV検査法技術研修会	名古屋市	1
10.16	階層別研修	岐阜市	1
10.21	中部電力テクノフェア	名古屋市	2
10.22	びわこ環境ビジネスメッセ2009	長浜市	1
10.22～23	エコテクノ2009	北九州市	1
10.23	無機分析セミナー	名古屋市	1
10.27～30	Agilent5975 GC/MS基礎オペレーション 及びメンテナンストレーニング講習	大阪市	1
10.28～29	第17回地域を活かす科学技術政策研修会	岐阜市	3
10.29～11. 1	耐性菌技術研修会	東京都	1
10.29～30	地衛研東海北陸ブロック理化学部門専門家研修	名古屋市	1
10.29～30	第36回環境保全公害防止研究発表会	富山市	3
10.30～31	岐阜大学フェア	岐阜市	3
11. 6	第53回岐阜県公衆衛生研修会	各務原市	4
11.12～13	全国衛生化学技術協議会年会	盛岡市	4
11.13	水質分析セミナー	名古屋市	1
11.14	ものづくり岐阜テクノフェア2009	大垣市	2
11.17	食の安全に関する講演会	岐阜市	1
11.18	ECO-Manufacture2009 製造業環境・エネルギー対策展	東京都	1
11.20	第2回リン資源リサイクルシンポジウム	東京都	1
11.20	地方衛生研究所全国協議会自然毒部会研究発表会	堺市	1
11.24～12.10	水質分析研修Aコース	所沢市	1
12. 1～ 2	分析機器操作トレーニング研修	八王子市	1
12. 3	中小企業向けVOC処理対策技術普及セミナー	岐阜市	7
12. 6	新エネ・省エネ推進専門員講習会	大垣市	1
12.11	リチウムイオン電池についての講演会	各務原市	1
12.16	第1回環境技術研究会講演会	各務原市	2
12.21	文書表現力向上講座	岐阜市	1
12.22	第6回医薬品レギュラトリーサイエンスフォーラム シンポジウム	東京都	1
22. 1. 9	新エネ・省エネ推進専門員講習会	大垣市	1
1.19～20	化学物質環境実態調査環境科学セミナー	東京都	2
1.20	シンポジウム「地域の産学官連携による環境技術開発のいま」	さいたま市	2
1.22	平成21年度指定薬物分析・鑑定に関する研修	東京都	1
1.26	食品G L P先進地視察	大阪市	2
1.28	第9回医薬品品質フォーラムシンポジウム	東京都	1
1.28	地域保健総合推進事業担当者研修会	東京都	1
1.29	食物アレルギーを巡る最近の動向シンポジウム	東京都	1
1.29	第4回「土壌・地下水汚染の調査・対策技術の現状」 セミナー	大阪市	1

年月日	研 修 名	場 所	出席人数
2. 2	鳥インフルエンザ対策に関する研修会	名古屋市	1
2. 2～10	クリプトスポリジウム試験法に係る技術研修	和光市	1
2. 4～ 5	地衛研東海・北陸支部衛生化学部会	金沢市	6
2. 9～10	四重極LC/MSシステムオペレーション基礎研修	八王子市	1
2.15～26	大気分析研修	所沢市	1
2.17	情報技術研究所・研究員研修会	各務原市	2
2.17～18	第25回全国環境研究所交流シンポジウム	つくば市	1
2.18～19	平成21年度ねずみ・衛生害虫駆除研究協議会	岐阜市	1
2.19	VOC排出抑制講習会	名古屋市	1
2.23	第4回日本薬局方に関する説明会	大阪市	1
2.25～26	希少感染症診断技術研修会	東京都	2
2.25～26	全環研東海近畿北陸支部「支部研究会」	富山市	3
2.26	関西6私大 新技術説明会	東京都	1
2.26	環境セミナーエコアクション21	岐阜市	1
3. 2	バイオセーフティ技術認定更新研修会	東京都	2
3. 8	文部科学省都市エリア産学官連携促進事業岐阜県南部エリア研究発表会	岐阜市	1
3. 9	平成21年度生活衛生関係技術担当者研修会	東京都	1
3.18	光化学オキシダント自動計測器の校正に係る研修	名古屋市	1
3.23	平成21年度岐阜県医薬品等製造販売・製造業者講習会	各務原市	1

5.3 学会等

年月日	学 会 名	場 所	出席人員
21. 5.14～15	第97回日本食品衛生学会学術講演会	東京都	1
6. 9～10	第18回環境化学討論会	つくば市	1
6.17	第15回地下水・土壌汚染とその防止に関する研究集会 プレワークショップ	名古屋市	2
6.18～19	第15回地下水・土壌汚染とその防止に関する研究集会	名古屋市	1
6.23	産総研 環境・エネルギーシンポジウム	東京都	1
7.21	大気環境学会中部支部講演会	金沢市	1
7.25	第55回東海公衆衛生学会	名古屋市	1
8.19～20	エアロゾル科学・技術研究討論会	岡山市	1
9.11	第9回環境技術学会研究発表大会	大阪市	2
9.16～17	第50回大気環境学会年会	横浜市	2
9.17～18	第20回廃棄物資源循環学会研究発表会	名古屋市	1
10. 1～ 2	第32回農薬残留分析研究会	松江市	1
10. 8～ 9	第19回無機リン化学討論会	東京都	1
10.14	第19回環境化学討論会第1回実行委員会	春日井市	1
10.21～23	第68回日本公衆衛生学会	奈良市	1
10.25～27	第57回日本ウイルス学会学術集会/Aテノウイルス研究会	東京都	1
10.30～31	第58回日本感染症学会東日本地方学術集会	東京都	1
11. 5～ 6	無機マテリアル学会第119回学術講演会	大垣市	1
11.12	第19回環境化学学会第2回実行委員会	名古屋市	1
11.12～13	第46回全国衛生化学技術協議会年会、理事・幹事会	盛岡市	2
11.27～28	第52回日本感染症学会中日本地方学術集会	名古屋市	1
11.29	第42回東海薬剤師学術大会	岐阜市	2
12. 3	第51回環境放射能調査研究成果発表会	東京都	1
12.17	第19回環境化学討論会第3回実行委員会	名古屋市	1
22. 1.26	第49回日本環境化学学会	名古屋市	1
1.27～29	全国都市清掃研究・事例発表会	松山市	1
1.30～31	第21回日本臨床微生物学会	東京都	1
2.19	第19回環境化学討論会4回実行委員会	名古屋市	1
3.15～17	第44回日本水環境学会年会	福岡市	1

5.4 講演会等

[学術講演会]

[中小企業向けVOC処理対策普及セミナー]

平成21年12月3日 ふれあい会館

- 1 環境省「地域の産学官連携による環境技術開発基盤整備モデル事業」について
- 2 大気汚染防止法の改正（VOC規制）について（岐阜県地球環境課）
- 3 VOC対策について（社団法人 におい・かおり環境協会会長 岩崎好陽）
- 4 岐阜県グループのVOC分解処理開発装置について
 - (1) 本研究の背景とコンセプト
 - (2) 通電発熱式VOC分解処理装置の開発

[保健環境研究所研究成果発表会]

平成22年3月3日 健康科学センター(保健環境研究所)「ハイビジョンシアター」

- 1 岐阜県において今年度流行したインフルエンザについて
- 2 宿泊施設を原因とするレジオネラ症集団感染事例の遺伝子型別解析
- 3 医療機器の過マンガン酸カリウム還元性物質測定法の検討
ーモデル試験液による加熱条件の測定精度に与える影響についてー
- 4 キノコによる食中毒事例について
ーLC/MS/MSによるアマニチンの分析ー
- 5 通電発熱型VOC分解処理装置の開発について
- 6 カートリッジ式ボルタンメトリー法の一般廃棄物処理施設における適用事例

6 検査備品及び図書等

6.1 主要検査備品

品名	規格	数量	購入年度	所属
高圧滅菌器	平山製作所 HV-85	1	H. 19	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U538	1	H. 19	保健
感染動物飼育装置	日本クレア FRPバイオ2000	1	H. 19	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U338	1	H. 19	保健
超低温フリーザー	サンヨー MDF-393AT	1	H. 18	保健
超低温フリーザー	サンヨー MDF-593AT	1	H. 18	保健
薬用保冷库	サンヨー MPR-414FS	1	H. 18	保健
遺伝子増幅装置	BIO-RAD iCycler	1	H. 18	保健
倒立顕微鏡	オリンパス CKX41N-31RC	1	H. 18	保健
冷却遠心器	KUBOTA 5922	1	H. 18	保健
顕微鏡用デジタルカメラセット	オリンパス FX-380-1	1	H. 18	保健
CO2インキュベーター	サンヨー MCO-36AIC	1	H. 18	保健
CO2インキュベーター	サンヨー MCO-36AIC(UV)	1	H. 18	保健
遺伝子増幅装置	ABI Gene Amp PCR System 9700	1	H. 17	保健
ゲル撮影装置	TOYOBO FAS-III	1	H. 17	保健
Nano Drop (スペクトロメーター)	Nano Drop ND-1000	1	H. 17	保健
冷却遠心機	クボタ 5922	1	H. 17	保健
オートクレーブ	トミー SX-300	1	H. 16	保健
オートクレーブ	トミー SX-500	1	H. 16	保健
インキュベーター	サンヨー MIR-153	1	H. 16	保健
遺伝子基本配列入力解析装置	日立 DNASISpro	1	H. 16	保健
ハイブリダイゼーション反応恒温槽	Hitachi Software KW0-015	1	H. 16	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド CHEF-DR III	1	H. 16	保健
バリエーションローター(マイクロ遠心機用)	クボタ AT-2730M	1	H. 15	保健
PCR装置	バイオラッドiCycler 170-8720JA	1	H. 15	保健
メディカルフリーザー	サンヨー MDF-U537	1	H. 15	保健
SARSコロナウイルス検出用測定装置	ループアンプ LA-320C	1	H. 15	保健
冷却遠心機	クボタ 5922	1	H. 14	保健
感染性医療廃棄物用高圧滅菌機	トミー MSS-325	1	H. 14	保健
DNA解析装置一式	ベックマンCEQ8000	1	H. 14	保健
超低温フリーザー	サンヨー MDF-192	2	H. 13	保健
遺伝子迅速検出システム	東京インスツルメンツ DNAscope4他	1	H. 13	保健
ゲル電泳検出システム	日本バイオ・ラッド	1	H. 12	保健
マイクロプレートデータ解析システム	日本バイオ・ラッド	1	H. 12	保健
遺伝子増幅装置	タカラ TP3000	1	H. 10	保健
高速冷却遠心分離器	日立 CR21F	1	H. 10	保健
超低温フリーザー	三洋電機 MDF-1155ATN他	1	H. 9	保健
DNA一次構造解析装置	ファルマシア	1	H. 8	保健
超音波洗浄装置	シャープ MU-624	1	H. 8	保健
落射型蛍光顕微鏡	オリンパス BX-60	1	H. 8	保健
濃縮遠心機	サーバント AES-100	1	H. 7	保健
ミリポリア超純水装置	日本ミリポリア RX12α	1	H. 7	保健
超低温槽	サンヨー MDF-792AT	1	H. 6	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド CHEF-DR	1	H. 6	保健
遺伝子増幅装置	パーキンエルマ PCRシステム 9600	1	H. 5	保健
微量冷却遠心機	トミー MRX-150	1	H. 5	保健
超遠心分離器	日立 HIMAC CP-70G	1	H. 4	保健
自動分注器	三光純薬 SGR-200	1	H. 3	保健

品名	規格	数量	購入年度	所属
超低温槽	サンヨー MDF-590AT	1	H. 2	保健
マイクロプレートリーダー	バイオラッド 3550	1	H. 1	保健
オートダイリユーター	三光純薬 SPR-2	1	H. 1	保健
炭酸ガス培養器	サンヨー MCO-96	1	S. 63	保健
微分干渉顕微鏡	ニコン XF-NT21	1	S. 58	保健
廃水処理対策システム付エバポレーター	EYELA NVC-1100 SB-1000 CCA-1100	1	H. 13	生活
液滴向流クロマトグラフ	東京理化 普及型DCCシステム	1	H. 13	生活
蒸留水製造装置	アドバンテック東洋 GSH-500	1	H. 12	生活
超低温フリーザー	サンヨー MDF-U581	1	H. 12	生活
H L P Cデータ解析システム	日本分光	1	H. 12	生活
高速液体クロマトグラフ	島津 LC-10AD	1	H. 4	生活
高速液体クロマトグラフ	アジレント LC-1100	1	H. 12	生活
旋光度計	日本分光 P-1020GT	1	H. 10	生活
二波長クロマトスキャナー	島津 CS-910	1	H. 4	生活
崩壊試験器	宮本理研工業 HM-2F型	1	H. 4	生活
溶出試験器	バンケル VK-7000	1	H. 16	生活
分光光度計	日本分光 V-650	1	H. 18	生活
マイクロプレートリーダー	バイオラッド モデル680	1	H. 18	生活
真空凍結乾燥器	アドバンテック VF-350	1	H. 12	生活
ホルムアルデヒド簡易測定器	新コスモス電機 XP-308B	1	H. 20	環境
イオンクロマトグラフ分析装置ワークステーション	日本ガイネクス Chromeleon CM6.8	1	H. 20	環境
卓上型超音波洗浄器	(株)エスエヌティ US-108	1	H. 20	環境
I C P発光分光分析装置用オートサンプラー・ワークステーション	サーモエレクトロン(株) ASX-260	1	H. 20	環境
ハイボリウムエアサンプラー	シバタ HV-1000F	1	H. 19	環境
高感度可燃性ガス検知器	新コスモス電機 XP-3160	1	H. 19	環境
天秤	ザルトリウス LA130S-F	1	H. 19	環境
V O C分析計	島津製作所 VMF-1000 (FID式)	1	H. 18	環境
複合ガス測定器 (CO・CO2モニター)	光明理化学工業 UM-280L	1	H. 18	環境
誘導結合プラズマ質量分析計	Agilent 7500ce	1	H. 18	環境
Ge半導体検出器一式	セイコー GEM25P4	1	H. 18	環境
ガスクロマトグラフ装置	島津GC2014 (FPD)	1	H. 17	環境
位相差顕微鏡	ニコン ECLIPSE80i	1	H. 17	環境
低バックグラウンド放射能自動測定装置	キャンベラ 5-XLB	1	H. 17	環境
Ge半導体核種分析装置	セイコー MCA7600	1	H. 17	環境
ガスクロマトグラフ (TCD)	島津 GC8A	1	H. 15	環境
高速液体クロマトグラフ	島津 HPLC VP-10	1	H. 15	環境
赤外分光光度計	日本分光 FTIR	1	H. 14	環境
ガスクロマトグラフ	日立 G3000	1	H. 14	環境
イオンクロマトグラフ	島津 HIC-SP	1	H. 14	環境
悪臭測定装置	島津 14BFFp	1	H. 14	環境
いおう酸化物・粉じん自動測定記録計	東亜DKK GRH-106, DUB-12	1	H. 14	環境
冷凍遠心機	クボタ 5930	1	H. 13	環境
高速自動濃縮装置	柴田科学 5410-03	1	H. 13	環境
E C D検出器付ガスクロマトグラフ	アジレント 6890N	1	H. 13	環境
メディカルフリーザー	サンヨー MDF-U442	1	H. 12	環境
真空低温乾燥器	ヤマト科学 ADP-21	1	H. 12	環境
大量注入装置	GLサイエンス	1	H. 12	環境
マルチ環境計測システム	テストー445	1	H. 12	環境
オキシダント自動測定記録計	東亜DKK GUX-253	1	H. 12	環境
窒素酸化物自動測定記録計	東亜DKK GLN-254	1	H. 12	環境

品名	規格	数量	購入年度	所属
中性子サーベイメーター	アロカ	1	H. 12	環境
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置	日本電子(株) JMS-700	1	H. 11	環境
高速液体クロマトグラフ	HPLC	1	H. 11	環境
ハイブリウムエア-サンプラー	柴田科学 HVC-1000N	1	H. 10	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード HP6890	1	H. 9	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード HP5973	1	H. 9	環境
高周波発光プラズマ発光分光分析装置	日本ジャレルアッシュ IRIS-AP	1	H. 9	環境
マイクロウェーブ分解装置	マイルストーン社 MLS-1200MEGA他	1	H. 9	環境
冷却小型遠心機	コクサン H-500FR型	1	H. 9	環境
非メタン炭化水素測定装置	島津 HCM-4A他	1	H. 9	環境
IM泉効計	理研計器	1	H. 9	環境
重油中いおう分分析装置	理学電気 サルファX TR43009	1	H. 8	環境
分取液体クロマトグラフ	日本ウオーターズ 4000	1	H. 8	環境
マイクロプレート・ルミノメータ	アート JNRAB2100	1	H. 8	環境
メディカルフリーザ	三洋電機 MDF-U442	1	H. 8	環境
シンチレーションサーベイメーター	アロカ TCS-166	1	H. 8	環境
悪臭測定装置	島津 GC-17APFFp	1	H. 7	環境
還元気化水銀測定装置	マーキュリー IRA-2A	1	H. 7	環境
高速液体クロマトグラフ分取システム	日本分光 PV-987	1	H. 7	環境
風向風速計(測定車積載用)	小笠原計器 C-W103	1	H. 7	環境
大気汚染測定車「あおぞら」	いすゞ KC-LR233J	1	H. 7	環境
オゾンメーター	東亜DKK	1	H. 5	環境
生物発光測定器	アロカ BLR-301	1	H. 5	環境
パーティックルガスクロマトグラフ質量分析計	横河 HP-5972A	1	H. 5	環境
分光光度計	日立 U-3000	1	H. 5	環境
ポータブルガスクロマトグラフ	HNU GC-311	1	H. 5	環境
煙道用窒素酸化物測定装置	島津 NOA-7000	1	H. 4	環境
一酸化炭素記録計	堀場 APMA-3500	1	H. 4	環境
分光光度計	日立 U-2000	1	H. 4	環境
TOC測定装置	島津 TOC-5000	1	H. 4	環境
イオンクロマトグラフ	横河 IC 7000S	1	H. 3	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード HP-5971A	1	H. 2	環境
ガスクロマトグラフ(FPD)	日立 263-70	1	H. 1	環境
原子吸光光度計	日立 Z-6100	1	S. 62	環境
炭化水素モニタ	島津 HCM-4A	1	S. 62	環境
アンダーセン大気用サンプラー	日本化学工業 3351	1	S. 59	環境
1/3-10分間分析器	リオン SA-25	1	S. 57	環境
ガスクロマトグラフ(ECD)	日立 163	1	S. 53	環境
液体クロマトグラフタンデム質量分析計	API 4000 QTrap	1	H. 20	食品
自動化農薬成分抽出装置	GLサイエンス G-Prep GPC8100	1	H. 20	食品
高速液体クロマトグラフ操作ソフト	島津高速液体クロマトグラフ VP10 V6 バージョンアップキット	1	H. 20	食品
冷凍庫	日本フリーザー GS-5203KHC	1	H. 19	食品
オートクレーブ	ヤマト SP200	1	H. 19	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	島津 GC/MS-2010	1	H. 18	食品
ガスクロマトグラフ(ECD)	島津 GC-2010 ECD	1	H. 17	食品
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメント RA-3 Model3220	1	H. 16	食品
ガスクロマトグラフ(ECD)	島津 GC-2010 ECD-NPD付き	1	H. 15	食品
ガスクロマトグラフ(NPD)	アジレント HP-6890	1	H. 15	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード HP5973	1	H. 10	食品
原子吸光分光光度計	セイコー電子工業 SAS7500	1	H. 8	食品
高速液体クロマトグラフ(カーバメイト農薬測定用)	島津 LC-10ADポストカラム	1	H. 6	食品

[平成21年度に購入した検査備品]

品名	規 格	数量	設置場所(部)
リアルタイムPCR	Applied Biosystems StepOnePlus™	1	保健科学部
ユニバーサル冷却遠心機	クボタ 5922	1	保健科学部
RNA自動抽出装置	Q I A G E N Q I A c u b e	2	保健科学部
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U538D	1	保健科学部
バイオメディカルフリーザー	サンヨー MDF-U538	1	保健科学部
電子天秤	ザルトリウス MSE2203P	1	保健科学部
マイクロ冷却遠心機	クボタ 3780	1	保健科学部
オートクレーブ	トミー L S X - 3 0 0	1	保健科学部
超音波洗浄装置 超音波発振器	日立国際電気エンジンアリング U0600PB-26	1	保健科学部
超音波洗浄装置 超音波洗浄槽	日立国際電気エンジンアリング UT-50PA	1	保健科学部
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置ワークステーション	日本電子(株)MS t a t i o n P C	1	環境科学部
メカニカル制御攪拌機	I K A 社製 R W 2 0 デジタル	1	環境科学部
ハンディタイプ溶存酸素計	H O R I B A 製 O M - 5 1 - 1 0	1	環境科学部
一酸化炭素メーター	B K P R E C I S I O N 製 6 2 7	1	環境科学部
粉砕器	(株)レッチェ グラインドミックス GM200	1	食品安全検査センター
ガスパージ式濃縮器	G L サイエンス リアクティサモ	1	食品安全検査センター
分液ロート振とう器	東京理科機器 MMV-1000W	1	食品安全検査センター
ガスクロマトグラフタンデム質量分析計	アジレント7000B GC/MS トリプル四重極システム	1	食品安全検査センター
抽出用マントルヒーター	(株)東京技術研究所 HKI-A-6	1	食品安全検査センター

6.2 新規購入図書

分類	図 書 名	著 者 等	発 行 所
519 公害環境工学	国内外におけるPFOS/PFOAの最新規制 動向と対応策	技術情報協会	株式会社 技術情報協会
486 動物学	新訂 原色昆虫大図鑑Ⅲ	平嶋義宏 森本桂	株式会社 北隆館

[雑誌]

分類	雑 誌 名	巻 号
(邦文雑誌)		
400 科学	科学技術文献速報 環境公害編	2009
	放射線化学	52-53
430 化学	化学と生物	47
	分析化学	58
	ぶんせき	2009
	食品衛生研究	59-60
490 医学	臨床と微生物	36-37
	保健医療科学	58
	PHARM TECH JAPAN	25-26
518	資源環境対策	45-46
衛生工学	環境技術	38-39
	生活衛生	53-54
	全国環境研究会誌	34
	官公庁環境専門資料	44-45
(欧文雑誌)		
490 医学	Journal of Health Science	55-56